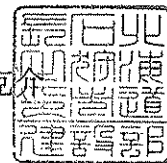


石庶務第 1 号
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局長 様

石狩市長 田岡 克



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について

標記について、下記のとおり意見書を提出しますので、よろしくお願い致します。

記

中期計画を作成するにあたっての意見について

1. 国際港湾と背後圏へのアクセス整備促進

- 1) 国際コンテナ化の時代にあつて、物流コストのトータル削減が至上の命題となっている。

特に、近代化船の就航による海上コストが奇跡的に改善される中で、内陸部における自動車輸送の環境は、その成果を明示するまでに至っておらず、アクセスタイムの不安定性がジャストインタイム・ドア to ドアの物流近代化を進める過程にあたってネックとなっている。

現在整備中の道央圏連絡道路（国道 337 号）は、製紙チップの本格的運送が始まるなど、新たなる要素も加わり、早期の完成が望まれる。

- 2) 石狩湾新港背後地は、物流関連企業が集積し、道内主要都市への加工配送等がデイリーで行なわれている。

都市間アクセス網の整備は、安全で安心な食料品等を安定的に消費地に提供するには不可欠な要素であり、道路ネットワークの整備が望まれる。

- 3) 国道 231 号の厚田・浜益区では、崖地崩落が現実に発生している状況から他の地域と遮断される地域住民にとっての不安がはかり知れないものがあると同時に、日本海側の国道トンネル及び崖地の危険性がクローズアップされていることを踏まえ、防災対策は勿論、災害発生時の通行止めにより、長大な迂回が発生する区間に対する道路のネットワーク化と代替道路の整

備促進の対策が必要である。

2. 冬期間における道路環境の改善

- 1) 北海道にとって冬期の道路確保は、日常生活や経済の根幹を担う極めて重要な課題となっていることから、道路環境改善に努めるほか、冬期災害の未然防止のため除排雪事業等による道路空間の充実を図らなければならない。

国道 231 号は、石狩湾からの強風が吹き込むため、吹雪による視界不良や吹き溜まりの発生により交通止めが起こっている状況であり、交通障害等を防除するとともに危険解消ため防雪柵等の整備の推進が必要である。

- 2) 近年は、日本海側を中心とする大雪が発生し記録的な降雪状況が起こっている。また、少子高齢化の現象から生活パターンに様々な変化が現れており、除雪水準のレベルアップを図らざるを得なくなっている環境にあり、豪雪地域に係る市町村では財源確保がままならないため除雪費の不足が続いている状況を踏まえ、必要な支援措置を講じる必要がある。

3. 観光需要に適切に対応できる道路環境の整備

本市観光の現状は、夏季の海水浴時期に活況を呈するが、この時期は著しい渋滞に見舞われ、円滑な交通移動が困難になっている。

このため、集客に支障をきたすほか、八幡・厚田・浜益地区と花川地区との交通が分断された状態となり、市民生活にも大きな影響を及ぼしている。札幌圏が海外客誘致も視野に入れた観光振興を図るには、自然と海を特徴とする石狩北部方面へのアクセスを改善する必要がある。

石狩河口橋の整備が望まれるところであるが、直ちには難しい状況となっていることから、国道 231 号から 337 号に交通を適切に誘導するための対応策を早急に見出さなければならない。

4. 自治体管理橋梁の計画・補修への支援策

本市管理橋梁は、海岸部に位置していることから、橋梁の老朽化が進行しており、予防対策を行う上で非常に大きな課題となっている。

道路ストック管理の実施に際して、厳しい財政状況の下、橋梁の長寿命化に係る補修・架替えに係る費用に対して支援策を講じる必要がある。

以 上